

野洲市歴史民俗博物館協議会委員名簿

任期 令和2年5月1日から令和4年4月30日まで

氏名	選出区分・所属等
難波 洋三	考古 奈良文化財研究所客員研究員
大橋 信弥	古代 近江古代史研究会代表
母利 美和	近世 京都女子大学文学部教授
山路 興造	民俗 野洲市文化財保護審議会委員
井上 一稔	美術工芸 同志社大学文学部教授
今井 早奈枝	野洲市文化財保護審議会委員
竹内 和子	博物館友の会代表 歴史民俗博物館友の会理事
高島 謙治	小学校校長会代表 野洲市立篠原小学校校長
植村 有子	中学校校長会・教頭会代表 野洲市立野洲中学校教頭
松井 博史	地元高等学校代表 滋賀県立野洲高等学校校長

令和2年度野洲市歴史民俗博物館協議会議事録

日 時	令和2年11月20日（金）10:00～12:00
場 所	歴史民俗博物館研修室
出席委員	難波洋三（委員長）・今井早奈枝（副委員長） 大橋信弥・山路興造・竹内和子・高畠謙治・植村有子 松井博史
欠席委員	母利美和・井上一稔
教育委員会	進藤武次長（兼博物館主席参事）
歴史民俗博物館	角建一館長・学芸員2名

開会 角館長

- ・委員の皆様には、ご多忙のなか今年度の博物館協議会にご出席いただき御礼申し上げます。
今日は博物館の運営や事業について、ご審議いただきたく存じます。

開会あいさつ 進藤次長

- ・昭和63年11月の開館から30年以上が過ぎた。協議会委員、友の会や市民のみなさまをはじめ多くの方々にお支えいただき、深く感謝申し上げたい。
- ・今年度は新型コロナウイルス感染症により多くの事業・企画が中止・延期となった。
- ・本日の会議では、昨年度・今年度の事業報告や次年度の事業計画等について、委員の皆様のご意見をいただきたい。

委員紹介・職員紹介（自己紹介）

市内の中学校代表として植村有子先生に就任いただいたことを報告。

正・副委員長選出（互選で任期は2年）

委員長 難波洋三委員 副委員長 今井早奈枝委員

報告事項

1) 令和元年度事業実績報告について

- ・主要事業と前回の協議会以降に実施した事業を中心に報告

- 委員 昨年度の秋期企画展「人と魚の歴史学」は着目点がよく、初めての琵琶湖博物館との連携した企画であり期待していたが、思ったよりも入館者数が少なく残念であった。しかし、こういった内容の展覧会はぜひ続けてほしい。
- 委員 講演会等の回数は増やすのは簡単だが、減らしていくのは難しい。新たな視点を盛り込んだ講演会を行うために、スクラップ&ビルドでどんどん更新をしていって欲しい。
- 委員 最近はどここの博物館も講演会のマンネリ化のようなものを感じる。斬新なテーマや新しい切り口での企画が必要ではないか。

講演会の参加者は市内と市外、どちらが多いのか？

- 事務局 市外の参加者が多い。
- 委員 市外の人が多いことも結構だが、やはり地元の人を惹きつけるような講演会をして行って欲しい。
- 委員 講演会は研究者や専門家のみならず、例えば前回の銅鐸研究会のような、実際に再現技術や経験を持つ方にも依頼してもらいたい。
- 委員 他館と協力して展示を行うことはいいことだと思う。統一したテーマ等を設定し積極的に取り組んでももらいたい。
- 委員 映像資料はわかりやすい。なるべく大きな画面で見たい。また、昔の人の暮らしや災害などの経験を語ってもらう企画なども大事だと思う。
- 委員 野洲市には国指定や県指定、市指定の文化財がどれだけあるのか市内の学生や子どもたちは知らないと思う。展示を通してもっとアピールが必要である。
- 委員 友の会事業の古文書解説は、地元のことを地元の人に知ってもらうのにとっても良いことだと思う。できれば若者にも参加してもらいたい。

2) 令和2年度事業経過報告と今後の予定について

・今年度の事業経過について報告

- 委員 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期事業のほとんどは中止・延期であるようだが、後半にかけて徐々に再開できているようで良かった。
- 委員 11月29日に「永原御殿跡 ー遺跡の保存活用とこれからのまちづくりー」のフォーラムが催されるが、永原御殿のPR等で、もう少し博物館と連携したほうがよいと思われる。
- 事務局 以前にはテーマ展にて関係の資料を展示したことがある。
- 委員 絵図なども展示してはどうか。
- 委員 永原御殿の発掘調査によってどのくらい遺物が出土しているのか。
- 事務局 絵図などは今後テーマ展などで展示していきたい。
出土遺物は瓦がほとんどである。現在は瓦の文様などを調査している。
- 委員 市民には意外と御殿が周知されていない。もっとアピールが必要。博物館にある、永原御殿の模型は本当に良いものであるため、もっと活用してほしい。
- 委員 永原御殿は永原城や上永原城などと混同して考えている市民の方もおられる。永原御殿の展示をする時は、これらの城も扱っていくとよいと思われる。
- 事務局 永原御殿も上永原城も現在の小中学校の近くにあるので、その存在を学校とも協力して知っていただけるようにしていきたい。
- 委員 新型コロナウイルス感染症の影響によってプラスになることはあったか。
- 事務局 基本的にはなかったが、収蔵庫の整理を進められた。
- 委員 収蔵庫の管理や整理はとても大変な作業だが、同時に重要でもある。今回、整理が進んだのは非常にいいことだと思う。

3) 令和3年度予算要求や来年度事業について

・来年度の事業予定について報告

- 委員 市長が変わった事によって何か影響はあるか。
- 事務局 市長が掲げている公約や、新型コロナウイルス関係にも予算がかかってくると思われるので、来年度予算要求に対しどのくらい認められるかは、判然としない。
- 委員 空調設備更新に関する予算はどうか。
- 事務局 重要なことであるのは承知しており、来年度も引き続いて要求している。
- 委員 マイクロフィルムのデジタル化は時代の流れでもあり、どんどん進めてもらいたい。デジタル化した資料が原資料となり、皆が活用できるので頑張ってもらいたい。また、デジタル資料は、しっかりとしたデータの保存や管理が必要なので、適正な保存方法などについても考えてほしい。
- 委員 令和3年度の秋期企画展は、久しぶりの銅鐸展を企画されているということで楽しみにしている。また、守山市で令和3年度に弥生時代のフォーラムをするようなので、協力できるのではないか。
- 事務局 企画展の借用資料などで守山市埋蔵文化財センターに協力をお願いしている。今後の交渉のなかで、より密に協力していきたい。
- 委員 最近はウォーキングやハイキングの人気がある。そこで、駅から博物館までの歩き時間や、道のりを示すのもよいと思われる。
- 委員 学校教育ではどうか。
- 委員 学校側からすると博物館にはより専門性を高めてほしい。教科書や授業ではなかなか教えられないことを博物館で学ぶことができれば、知識の向上につながる。また、全く興味をもっていない生徒たちに対しても、この博物館の存在を知らせたりアピールしたりする工夫をしてほしい。そのひとつの例として、SNSやWebでの発信も考えてほしい。
- 委員 子どもには映像資料などが好評なので活用してほしい。
- 委員 今回の協議会に参加して、地元の歴史や文化財をどのように教育課程の中に組み込めるのが重要だと感じた。博物館から出張授業などを行ってもらいたい。

閉会あいさつ 進藤次長

- ・本日は、お忙しいなか、長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。
いただいたご意見を活かして、よりよい博物館の運営につとめていきたい。

*終了後、

秋期テーマ展「地中からのメッセージー発掘調査で紐解くー」を案内